キャラクター名	プレイヤー名
ジャック@白アリ	

種族	リカント	種族特徴	獣変貌		
生まれ	拳闘士	性別	男	年齢	21
冒険者Lv	11	経歴	大けがをしたことがある		
経験点	4540		師と呼べる人物がいる		
			大きな嘘をついている(いた)		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	11	器用度	6	6	2	25 + 1	4
		敏捷度	9	9		29 + 1	5
体	7	筋力	11	7		25	4
		生命力	10	7		24 + 1	4
心	7	知力	10	1		18	3
		精神力	5	5		17	2

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	11		
スカウト	9		
レンジャー	7		
エンハンサー	3		
アルケミスト	1		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	11	15	16	15
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	リュンクスベスト		8	2	3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能	グラップラー	合計値		18	8

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エッジドアーム+1 魔法の武器、専用化（器用度+2※命中判定）	1H	10	2	2d+ 17	11	19	20										
ギルデッドサバトン+1 魔法の武器、専用化（器用度+2※命中判定）	1H#	15		2d+ 15	11	19	35										
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□□○□□
・背負い袋	○□□□○□□
・水袋	○□□□○□□
・毛布	○□□□○□□
・たいまつx6	○□□□○□□
・火口箱	○□□□○□□
・ロープ10m	○□□□○□□
・ナイフ	○□□□○□□
マテリアルカード(赤A)x10	○□□□○□□
俊足の指輪	○□□□○□□
スカウト用ツール	○□□□○□□

所持金	預金・借金
21810 G	G

戦闘特技			
追加攻撃	220 p	鎧貫き	1-292p
投げ攻撃	225 p	防具習熟A/非金属鎧	1-282p
カウンター	2120p	飛び蹴り	2-229p
鎧貫き	IB39 p	防具習熟S/非金属鎧	1-282p
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123p		p
影走り	2120p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
武器習熟A/格闘	1-281p		p
武器習熟S/格闘	1-281p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
リカント語	○	○

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	32 m	96 m	2d+ 18	8	60

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/×	2d+ 14	2d+ 15	2d+ 13	19

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

部位	装備品	説明
頭	スマルティエのヘッドバンド	HP回復効果を受けた際MP1点回復
耳	スマルティエの調音器	10m手前から聞き耳判定を行える
顔		
首	熊の爪	マッスルベアーの効果に+1
背中	スマルティエの風切り布	1R命中・回避+2(18Rに1回)
右手	俊足の指輪	
腰	真・ブラックベルト	
足		
その他		

部位	装備品	説明
左手	巧みの指輪	
	多機能ベルト	1000G返した(アルケミーキット200G装着)

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ガゼルフット	
マッスルベアー	
ヴォーパルウエポン	

名誉アイテム	点数
真・ブラックベルト	80
冒険者ランク「ハイペリオン」	700

名誉点 所持 120 /合計 900

その他メモ

冒険に出た理由：故郷を滅ぼされたので

とある国境に位置するリカントの村で生まれ、育った男。
昔から物が壊れる瞬間が好きで、しかしそれ自体はおかしいものと言う理解があるゆえに子供のころは根暗な性格だった。
16歳になって少ししたある日、自身の住んでいた村が戦火にのまれた。
前々から隣国との関係がよくないという噂はあったが、前触れはなく完全なる急襲であった。
小さい村であった故郷はすぐさま潰され、皆けがを負いながらも命からがら逃げ伸びた数人に偶然にもジャックは紛れ込めた。
しかし、その村がつぶれていく様、家が焼け落ち、道が踏みつぶされていく様子はジャックの性癖を大きく刺激した。

その後ジャックは自身の村を潰した敵国の将軍の名をジェイドと聞く。
彼がその名を聞いたとき、胸に抱いたのは復讐心でも悔しさでも憎しみでもなく純粋なあこがれであった。

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟